

安心して暮せる平和と ゆとりのあるまち

(二) 快適な生活 環境の整備

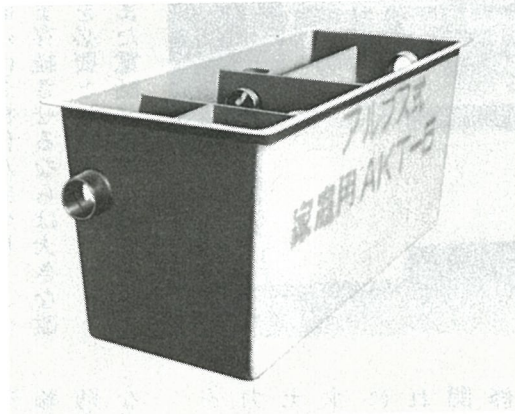
近年、住民生活は生活様式の高度化・多様化に伴い、生活は豊かになり、今後社会が進んでいった中でも同様の傾向を示していくことが予想されます。

しかし、一方ではこれが起因となつて家庭雑排水・し尿処理・ゴミ処理等の諸問題が生じてきており、今後問題が増加する傾向にあるものと考えられます。

家庭雑排水

対策事業

生活様式の高度化、多様化が起因となり家庭雑排水は質量とも悪化、増加が進み汚濁を強くしています。これは家庭内におけるゴミを取り除く一次処理を行つただけでも、かなりの浄化



が図られるものであり、今後家庭から出る排水をできるだけきれいにして排水する意識を醸成してまいります。

また、一次処理を行う簡易浄化槽の設置と排水路整備を行い衛生的な生活空間を創出してまいります。
(事業費 三八、一六八千円)

ゴミ処理

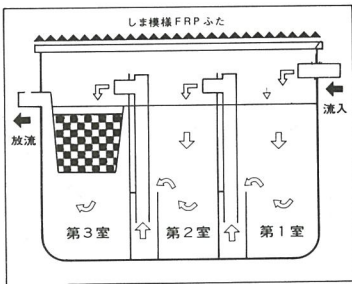
し尿処理対策

ゴミ処理については、処理量が年々増加の傾向にあります。

今後は廃棄物の減量、再資源化を推進し、更にゴミの分別収集を行い、ゴミ処理経費の節減に努めてまいります。

し尿処理については、家庭用浄化槽が普及してきていますが、適切に管理されていないものが多く見受けられることから、適切に管理されるよう指導し公衆衛生の確立を図ってまいります。

〈家庭用簡易浄化槽〉



(三) 医療機関の 整備

東陽病院の整備

東陽病院は昭和二十六年に開設されて以来三十六年間に地域の中核医療機関として地域住民に適切な医療を提供し地域医療の確保に多大の功績を挙げてまいりました。

しかし、現在医療を取りまく環境は、人口構造(高齢化社会)、社会環境(食生活の変化・生活様式の高度化等)の変化に伴い、地域住民の健康に及ぼす諸原因はますます複雑化し住民の医療要望は一層高度化し、多様化してきております。

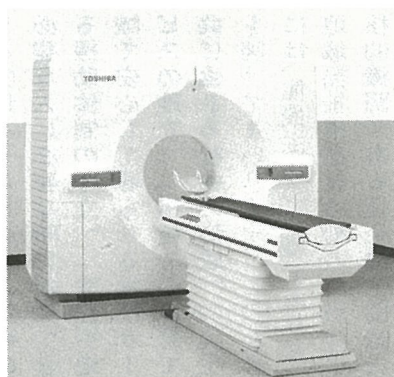
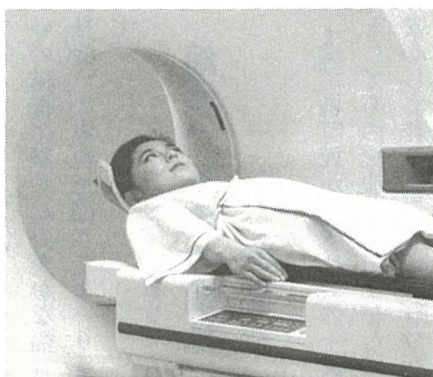
こうした状況に対し、日進月歩の進展を続ける現代医学を充分駆使し、適正で高度の医療を提供し地域住民の医療不安を解消していかなくてはなりません。

また、近年「予防」「治療」「リハビリ」を含む包括医療の時代といわれ、特に自治体病院であることから地域に根ざした包括医療体制の確立が求められています。

これらのことから、今後当病院の在り方については、常に経済性を発揮するとともにその本来の目的である公共の福祉を増進するように運営させなければ

ならないことを念頭に置き、社会的要請の大きい救急医療ではその内容設備の充実を求め、第2次救急担当をし得る病院とするものであり、高度、特殊医療は他の公的医療機関との分担を図りつつ、地域の実情に即した中核病院として整備充実を図っていくものであります。

また、診療科目についても、地域住民の要望、疾病率等の実態を的確にとらえ、これにそつた診療科目の設置に努めてまいります。



導入計画のある全身用スキャン